

## ネイティブ豚マレート脱水素酵素、IFCC品質

Cat. No. DIA-278

Lot. No. (See product label)

### はじめに

説明	マレートとオキサロ酢酸の相互交換を触媒する脱水素酵素。この製品の実績のある診断品質に依存してください。国際臨床化学連合（IFCC）の推奨に従ってテストされています。
用途	マレート脱水素酵素を、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼの測定のための診断テストや、クエン酸および酢酸のテストの用途に使用してください。
別名	マレート脱水素酵素、IFCC品質；リンゴ酸脱水素酵素；L-マレート脱水素酵素；リンゴ酸脱水素酵素；MDH

### 製品情報

種	豚の
由来	豚の心臓
外形	白色凍結乾燥物
分子量	70 kDa
活性	>70 U/mg リオフィライズド
混入物	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST/GOT): <0.001 アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT/GPT): <0.001 グルタミン酸脱水素酵素: <0.005
等電点	6.1-6.4
pH安定性	7.0-9.0
最適pH	7.5
熱安定性	+40°Cまで
ミカエリス定数	L-マレート: $4.0 \times 10^{-4}$ mol/l L-タルトレート: $9.0 \times 10^{-3}$ mol/l メソ-タルトレート: $1.2 \times 10^{-3}$ mol/l オキサロ酢酸: $3.3 \times 10^{-5}$ mol/l
特異性	マレートとタルトレートのL-構成。NADはその類似体に置き換えることができますが、NADPでは置き換えられません。
活性化因子	リン酸塩、ヒ素酸塩、Zn <sup>2+</sup>
阻害剤	ヨウ素化合物、例えばヨウ素シアン化物、チロキシンおよび分子ヨウ素、フェノール、1,10-フェナントロリン、8-ヒドロキシキノリン、硫化物、ニコチン酸アミド、アデニン、AMP、ATP；オキサロ酢酸（過剰）。

### 保管・発送情報

安定性	+2°Cから+8°Cの範囲内で12ヶ月間の仕入範囲内。乾燥した場所に保管してください。
-----	---